



二星

気仙沼市立唐桑中学校

令和4年度
校長室便り

第7号 10月7日発行

感謝

～保護者の皆様と生徒の皆さん、ご協力を賜った皆様へ～

1学期終業式 校長式辞

今日と昨日は、すごく寒い日ですね。ついこの間まで、「暑い暑い」と言っていたことが嘘のようです。

さて、令和4年度1学期が終了しました。4月に赴任し、唐桑の自然の美しさ、古くても丁寧に使い込まれた伝統の校舎、生徒の真剣なまなざしと姿勢、保護者の皆様の温かいご支援から感銘を受け続けた半年間です。

特に、生徒の皆さんからは、エネルギーをもらい続けました。集会時に話し手をまっすぐに見つめる眼、心温まる歓迎パーティーや勉強パー



ティーなどの生徒会活動、限られた時間でありながらも精一杯取り組んだ部活動、目標達成を目指して頑張った各種大会・コンクール、授業中の真剣な態度、校外学習での新鮮な驚きに満ちた表情……。本当にありがとう。そして、同時に、皆さんを育ててくださったご家庭と、小学校の先生方、そして、今、話を聞いている先生方に、感謝せずにはられません。

もちろん、すべてがすべて順調だったということではありません。私のところにも、毎日、先生方から様々な相談がありました。勉強への意欲を感じ取

れなかったり、やるべきことが手につかなかったり、ときには友達とぶつかったり、思い通りにいかないことに腹を立てたり、友達のことが理解できなくてイライラしたり、悔しくて泣いたり。

学校は、自分のペースで生活や勉強ができないだけに、楽しいことばかりではあり



ません。決められたルールがあり、先生の指示を聞くべきときがあり、他の人の気持ちや立場を優先しなければならないときもたくさんあります。だから、今もなお、ストレスを抱えたまま、心の傷が癒えずに過ごしている人もいると思います。



ただ、皆さんを待ち受ける長い人生は、失敗を繰り返し、ストレスや傷を抱えつつ過ごし、人間関係のもつれを抱え、心のモヤモヤ

を感じながら生活していくもの。でも、いや、だから、人生は面白い。

なぜなら、自分の思い通りにならないからこそ、ストレスを解消できたときに心が晴れやかになるし、傷が癒えたときに幸せをかみしめることができる。

失敗を繰り返して成功をつかみ取り、困難を乗り越えたときには、達成感や充実感を味わうことができる。

友達とぶつかったり、嫌な思いをしたことで、相手の気持ちが分かるようになるから、相手に優しくできたり、人を思いやれるようになる。



今日昨日は、最高気温が16度。私たちにとっては寒い日です。

しかし、長い長い冬を過ごしていると、2月のある日、「最高気温が8度になる」と天気予報を聞いたとき、「あ、ずいぶん温かくなるなあ。」なんて感じたりする。人間って不思議ですね。16度で「寒い」と感じ、8度でも「温かい」と感じる。自分の気持ちが落ちているときこそ、人のぬくもりを「温かい」と感じられるようになる。長く苦しい期間があるからこそ、当たり前前の出来事を幸せと感じられるようになる。

私は、人間と植物は似ていると思うことがあります。

例えば、春に花を咲かせる木には、春になると、たくさんの人が集まります。その姿を、針葉樹の松や杉の木はうらやましく見ているかもしれません。また、秋には果物の木に人が集まります。やっぱり松や杉の木には人が集まりませんから、寂しく感じているかもしれません。

でも、人生と同じように季節も巡るのです。

人々がもっとも辛い季節、冬になると、春に花を咲かせた木や、秋に果物を実らせ



た木々は葉っぱを落とし、寒々としていますから、人はまったく寄りつきません。しかし、杉や松の木は、冬もなお、変わらずに葉を茂らせます。凍える風から森を守り続けます。その結果、人々は杉や松の木の下を通り道にします。頼りにします。杉や松のような針葉樹は、雪や寒さから人々や動物を守り続けるのです。そして、木々の根っこに水分を蓄える。その蓄えた水分は、やがて川を流れ、春の花や、秋の果物を実らせる助けとなります。

今、自分の思い通りにならなくとも、今、相手をうらやましく感じるものがあっても、いつか、自分の季節がやってきます。逃げてても良い、挫折しても良い、失敗しても良い。ただ、自分の可能性をあきらめなければ、必ず自分の季節がやってきます。

そして、何よりも大事だと私が考えるのは、「人と比べないこと」。

誰かをあこがれるのは良い。尊敬したり真似することも良い。ただ、その人と自

分を比べては駄目。必ず訪れる、自分の未来をあきらめては駄目。



1学期、皆さんは本当によく頑張りました。

2学期は、ぜひ、「比べない」「諦めない」を胸に抱いてください。もし、そのような気持ちが湧いてきたら、自分のその揺れる心を「否定（比諦）」してくださいね。

自分の未来に向かって、人と比べず、自分を諦めず、生活していきましょう。

